

## 「いのちと暮らしを守る税研集会」

2019年1月12日(土)、13日(日)けんせつプラザ東京(東京土建)に於いて、「いのちと暮らしを守る税研集会がおこなわれ、年金者組合も参加しました。

集会は、金子民夫実行委員長(全年金者組合執行委員長)の主催者挨拶は、年金パンフ、署名、葉書行動に触れ行なわれました。その後、渡邊睦実行委員会事務局長が経過報告を行い、学習会に入りました。

伊藤周平教授の90分の講演はあらためて学ぶ内容となりました。岡田俊明理事長の講演は、消費税増税問題を含む税制問題を縦横無尽に語り、これからの運動に大いに参考になるものでした。与党税調が、年金課税問題を最優先課題にしていることにも驚きました。年金額を下げるためには、①受給開始年齢を引き上げる②支給率を下げる(10/1000→5.481/1000)③物価スライド、賃金スライドを改悪する④標準報酬制度の改悪(河村健吉分析)、の4つありますが、年金課税の改悪は5番目の年金引き下げになります。こうした動きにストップをかける闘いを、大きく広げましょう。今後、年金課税問題を解明していくための重要な学習会となりました。

全大会 12日

講演1 「消費税と社会保障～税制改革と社会保険改革の方向～」

講師 伊藤周平鹿児島大学教授

講演2 「2019年度政府予算案と税制改正大綱」

講師 岡田俊明東京税財政研究センター理事長

分科会 13日

1. 「税務調査と納税者の権利」

講師；本川国雄税理士 助言者；八代税理士 70人参加

2. 「サラリーマン・年金受給者の問題」 斎藤寛生全労連・賃金・公契約運動局長  
30人参加

「年金140万人過少支給問題～年金制度における源泉徴収税問題～」

全年金者組合増子啓三中央執行委員

3 「社会保障財源と税制」 助言者；荒川税理士 52人参加

4 「滞納処分と納税者の権利」 報告；仲道司法書士 助言者；角谷税理士 41人参加



金子実行委員長の挨拶

